

○授業改善のための「3つのポイント」「9つのチェック項目」です。

授業の振り返りや互見授業等の視点として活用して下さい。

<使い方>

- ①授業者は、本時の教科・領域、単元名、題目、展開において特に力を入れる「力点」に○をして授業をします。
- ②3つのポイントから1つずつ力点を自分で決めて下さい(3つの力点)。判断に迷うときは、全体で1つでも良いです。
- ③参観者(校長、教頭、学力向上支援教員等)は、備考欄に気が付いたこと(よさ、改善案)を記入します。
- ④授業者と参観者は授業についての意見交換を行います。

6月 30日 (木)		6年 2組		授業者	板井 悟
教科・領域	算数				
単元名	速さ				
題目	道のりも時間も違うえりさんとゆうたさんの速さを比べるにはどうすればよいか				
主眼	道のりも時間も違うえりさんとゆうたさんの速さを比べるにはどうすればよいかを、<道のり・時間をそろえる><1秒・1mあたり><数値の大小の意味>などから考え、公倍数や単位量あたりの大きさを使って求めればよいことを理解することができる。				
展開	1	2人の速さについて見通しを持つ。			
	課題	道のりも時間も違うえりさんとゆうたさんの速さを比べるにはどうすればよいか			
	2	道のりも時間も違う2人の速さを比べるにはどうすればよいかを考え、発表する。			
	3	学習のまとめをする。			
まとめ	道のりも時間も違うえりさんとゆうたさんの速さを比べるには、 ①公倍数(かけ算)を使って、200m、72秒あたりで比べる ②単位量あたりの大きさ(わり算)を使って、1秒あたりの道のりで比べればよい。※えりさんが速い				
4	1mあたりでも比べられるかを考える。				
ポイント	授業者の主張点	チェック項目	チェック欄 (授業者、 観察者)	観察者から(よさ、アドバイスなど)	
授業の基本のみがき直し	○	1	①課題(めあて)を位置づけている ○教師は、「課題(めあて)」を明確に位置づけているか。		
		2	②課題とまとめを呼応させている ○教師は、課題と呼応したまとめを位置づけているか。		
	○	3	③構造的な板書を行っている ○教師は、「板書プレート」を使って、学びの道筋が見える板書の構造化をしているか。		
問題解決的な学習活動の展開		4	④学ぶ意欲を引き出す課題を設定している ○教師は、子どもが「考えてみたい」、「やってみよう」と思うような課題を設定しているか。		
	○	5	⑤課題解決のための見通しを持たせている ○教師は、子どもに課題解決のための具体的な見通しを持たせているか。		
		6	⑥適切なまとめをしている ○教師は、子どもに「考えたこと」や「言えそうなこと」等を発信させたり、交流させたりしながら、適切なまとめを行っているか。		
生徒指導の三機能の意識	○	7	⑦自己決定の場を与えている ○教師は、子どもに課題に対する自分の考えを持たせているか。		
		8	⑧自己存在感を与えている ○教師は、子どもに一人ひとりの活躍の場(発表・発信)を保障し、達成感を持たせているか。		
		9	⑨共感的人間関係を築かせている ○教師は、子どもに考えを交流させ、他者を認め合い、励まし合い新しい考えを生み出させているか。		

本年度における臼杵市の授業改善のための重点

「見通し」 ⇒ ゴール(まとめ)への学びの道筋を子どもに持たせよう！ 教師もゴールへの明確な手立てを見通そう！

「自己決定」 ⇒ 子ども自身に思考・判断・表現させよう！

「(適度な)追い込み」 ⇒ 子どもからの発信を待とう！ 子どもの考える時間を、語る時間を教師が奪わない！